

平成25年度第12回（通算14回目）  
福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会開催報告書

1 日 時 平成25年11月26日（火） 12:00～15:30

2 場 所 福島第一原子力発電所

3 出席者 別紙出席者名簿のとおり

- (1) 廃炉安全監視協議会構成員（専門委員、県生活環境部、関係市町村）
- (2) 説明者 東京電力(株)

4 調査行程

(1) 調査項目

- ア 4号機の使用済燃料プールに沈めた空の移送用キャスクに使用済燃料を移動する作業の確認

5 調査結果

◎現地調査

4号機の使用済燃料プールに沈めた空の移送用キャスクに使用済燃料を移動する作業の確認を実施し、燃料移動作業は、細心の注意を払い、慎重に手順通り作業されていることを確認した。

◎質疑応答

○石田委員

燃料移動は非常に慎重に行われていた。しかし、作業に慣れると慎重さが欠けて、別のリスクが生じる可能性がある。今後も安全を第一に慎重に作業を進めて欲しい。なお、現場確認で疑問に思ったのは1本目の燃料をつかむ前に、燃料とは別の位置に燃料取扱機を移動させていましたが、どのような目的だったか。

●東京電力

水中カメラを沈める際に、ロケーションの調整をするために、別の位置に動かして微調整を行う目的で移動しております。

○大越委員

使用済燃料の移動作業にあたり、被ばく量についての懸念はないか。震災により使用済燃料プールの燃料について影響を受けた燃料の健全性については確認するのか。

●東京電力

使用済燃料の作業にあっても、燃料を水中で取り扱うため、放射線量としては高い数値にはならないようにしている。水中カメラですべて確認を行ったが、がれきにより変形した燃料はなかった。また、燃料の長期的な健全性については、国のプロジェクトで研究して行く予定となっている。

○長谷川委員

破損燃料という言葉に対して、原子力の専門家と一般人では言葉に対する受け取り方は異なる。そのところを認識して、丁寧に説明をしていただきたい。

●東京電力  
了解しました。

○藤城委員

燃料の移動作業にあたっては緊張感を持って、作業にあたっていただきたい。また、今回の作業について、通常原発の作業と異なり手動操作となっているというが、作業にあたり技量が必要と思うが支障はないか。

●東京電力

取り出し位置まで移動する際に、手動操作となるが、それ以外の燃料ハンドルのつかみ操作などは、通常燃料移動作業と同じであり、特段の支障はない。

○高坂専門員

使用済み燃料の取り出しに当たり、レビューに書かれている以外の改善点はなかったのか。また、今後も緊張感を持って進めて行って欲しい。

●東京電力

レビュー以外にはない。なお、新燃料の移動および今日の一体目の使用済み燃料の取り出しには、かじりがなかったので安心している。

○次長

本日は時間の都合により、市町村からの質問については、後日メールで照会します。

◎次長まとめ

本日の廃炉安全監視協議会は、使用済み燃料の取り出し作業について、現場の対応状況の確認を行いました。燃料移動作業開始前の11月12日に、協議会として現地を確認し、手順をしっかりと遵守し、安全かつ着実に行うこと。トラブルが起きた場合を想定した対策を事前に講じるとともに、リスクの再検証を行い、必要に応じて手順の見直しを行うこと。作業従事者の環境改善を実施し、対策を行うこと。作業の実施状況については、適宜、県民に対してわかりやすく丁寧に情報提供すること。について申し入れをしたところであります。

本日確認したところ、燃料移動作業は概ね着実かつ慎重に行われておりました。一方で、キャスク輸送1回目が新燃料を対象にしたものだったのに対し、今回は使用済み燃料の輸送ということで、万が一、燃料が破損したり、水中から露出した際の放射線量が高いというリスクがありますので、より一層の、慎重かつ着実な作業が求められるところであります。また、21日に、キャスクの吊り下げ作業を確認した際にもこれから先、約1年にわたる長期の、繰り返し作業の中で、「慣れ」、「マンネリ化」によるミスが懸念される、といった指摘もありました。今後、これらの事を念頭におきながら、万が一のミスもないよう、慎重に作業を進めていただきたいと思っております。作業の実施状況については、引き続き、廃炉安全監視協議会において、しっかり確認してまいりたいと考えております。

最後に、これまでも繰り返し申し上げておりますが、原子力発電所の廃炉作業を安全かつ着実に進めることが、本県の復興の大前提であります。東京電力には、県民の思いを改めて重く受け止め、県民の安全・安心を最優先に、一刻も早く原発事故の完全収束を図っていただくよう申し上げ、本日の協議会を終了します。

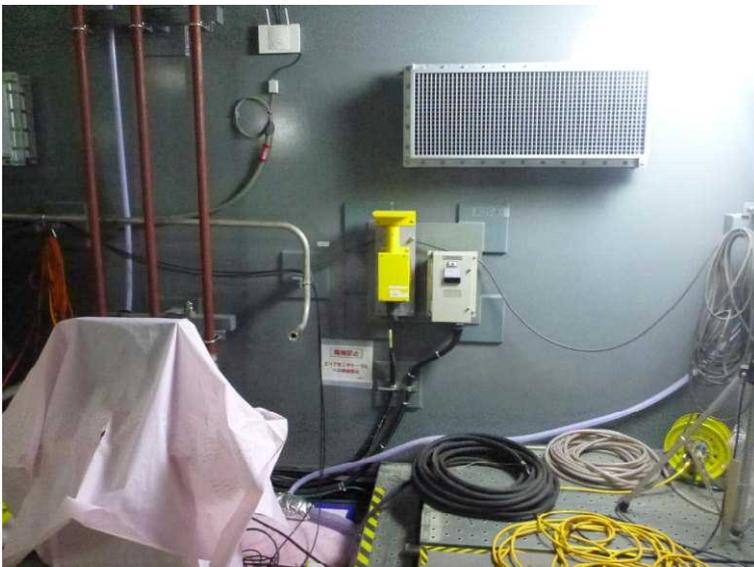
◎小野所長挨拶

今回はキャスク移動の作業、今回は使用済燃料の移動作業を皆様にご確認いただきました。皆様にご協力いただきまして、ありがとうございました。4号機の燃料移動については今後も安全第一で進めていきたいと考えております。今後とも皆様にご指導いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

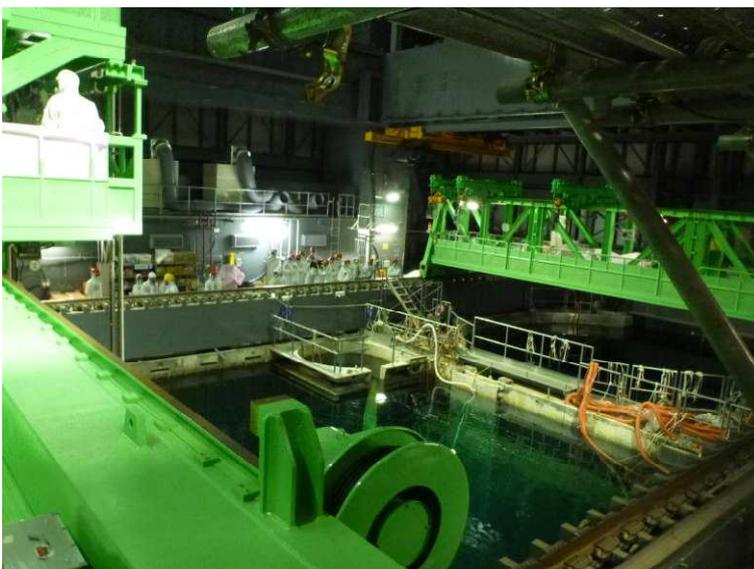
以 上



○作業の事前説明  
(4号機オペフロ)



○現地確認  
(4号機 オペフロのエリア  
線量計モニタ (黄色))



○現場確認  
(4号機燃料取扱機)



○現地確認  
(4号機 燃料取替機)  
規制庁職員も同乗して、作業の手順確認を実施していた。



○現地確認  
(4号機 燃料取扱機)  
使用済燃料のつかみ操作中



○質疑応答



○質疑応答



○ぶら下がり  
Jヴィレッジ  
テント内